



こはら 小学校

小原小学校だより No.1
令和5年(2023年) 4月号
いのち輝く小原っ子



<https://edu.city.koka.lg.jp/koharasyo/>

小原小学校のホームページもご覧ください。

ご入学 ご進級おめでとうございます！



新たな始まり ～一人ひとりが輝く一年に～

いつもより早く開花した校庭の桜が、名残惜しそうにその姿を青葉にかえていっています。令和5年度の小原小学校は、9名の新入生を迎え、全校児童48名、ひまわりを入れて7クラスでのスタートとなりました。

2週間の春休みを終え、新たな気持ちで登校した子どもたちは、久しぶりに会う友だちや新しい担任の先生との出会いに心躍らせている様子がうかがえました。

この1年コロナウイルスをはじめインフルエンザなど感染症対策に心がけながら、子どもたちの健やかな成長を職員一同全力で支援してまいります。子どもたちの笑顔あふれる日々がたくさん迎えられますよう、ご家庭や地域でのお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

【小原小学校教育目標】 自立と共生の心もち、いのち輝く子どもの育成

(昨年度と同様ですが、大事にしている学校目標です)

令和5年度職員

どうぞよろしくお願いいたします

校長	角出 好隆	1年	9名	野中 美佳
教頭	新海美智代	2年	6名	植西ちあき
養護教諭	和田加壽恵	3年	7名	奥村 慶子
事務主査	鈴木 理恵	4年	4名	高尾 友基
用務員	古賀 秋則	5年	12名	北崎依緒菜
特別支援員	藤田 真澄	6年	10名	平松 拓真
特別支援員	西谷真由美	ひまわり1	(2名)	奥山 直子
特別支援員	井上 莉沙	外国語専科		壺井 祐一

◇転入してまいりました。



教頭 新海美智代
朝宮小より

講師 高尾友基
大阪府島本町立第二中より

令和4年度末人事異動による転出教職員

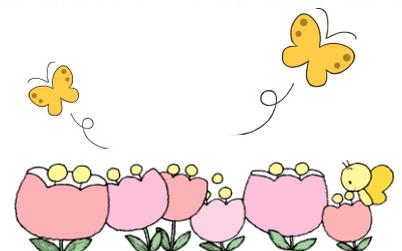
令和4年度末、以下の教職員が転出いたしました。

これまで職員にお寄せいただきましたご厚情に感謝いたします。

教頭 島田 悦子 甲賀市立信楽小学校へ転出

教諭 田中 宏明 甲賀市立甲南第二小学校へ転出

お世話になりました。



4月のおもな行事

- 10日(月)新任式・始業式 給食なし 11:40 下校
11日(火)入学式・2～6年給食あり 13:30 下校
12日(水)身体測定2～4年 13:30 集団下校
通学団集会 通学路点検
13日(木)身体測定1・5・6年
PTA 全体委員会 19:00～
14日(金)視力検査(全校児童) 14日まで
避難訓練
17日(月)安全点検 委員会活動
18日(火)全国学力学習状況調査6年
20日(木)・21日(金)検尿
21日(金)スクールガード見守り会議
教育後援会総会・ワクワク農園推進部会
23日(日)PTA 農園草刈り
24日(月)聴力検査

- 25日(火)なかまのつどい
26日(水)学習参観・PTA 総会・学年懇談会
心電図検査1・4年

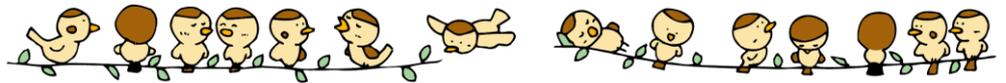
5月のおもな行事

- 1日(月)・2日(火)個別懇談会
11日(木)田植え・いもの苗植え
12日(金)4年やまのこ
18日(木)交通安全教室
24日(水)体力テスト
26日(金)プール掃除

その他連絡について

- ・家庭訪問は予定していません。個別懇談を5月と9月に行います。(12月は希望者のみ)
- ・8月中の全校登校日は設けません。9月1日より2学期を開始します。

お知らせとお願い



4月1日以降の新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる対応等について

- 児童及び教職員については、学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とします。
- 校外学習等で混雑したバスを使ったり、医療機関や高齢者施設を訪問したりする場合は、マスクの着用を推奨します。
- 学校教育活動の中で、「感染リスクが比較的高い学習活動」の実施に当たっては、活動の場面に応じて、マスクの着用など感染症対策を行います。
- 様々な事情を考慮し、マスクの着脱を強いることはしません。
- こまめに換気、手洗いをを行います。
- 給食準備時は、全員マスクをします。食事をする際は、机を向かい合わせにはせず、適切な換気を確保し、大声での会話は控えます。
- 毎朝健康観察をし、熱があるとき、体調がすぐれないときは無理をせず、自宅療養してください。

☆いのち輝く子どもたちを育みたい☆

本校の学校教育目標から、「いのちかがやく場面」を「かがやきショット」としてその情報を共有しようと「こころからだなかま部会」で計画を進めています。

ひとり一人の輝きはいろんな場面にあること、見る側にも感じ方がいろいろあり輝きを見つける感覚に深みが増すこと、心に豊かさが育まれ人とのかかわり方に温かみが生まれることなどを願っています。いずれにせよ、心を育てることは涵養(岩に水がしみいるがごとく養われる)の精神が大切と考え取り組みを進めます。

◇ワクワク農園事業へのご協力について



保護者や地域の皆様のご協力により、長きにわたってワクワク農園事業を継続いただき、子どもたちは栽培活動を体験してまいりました。ご支援に心より感謝申し上げます。今年も変わらずご協力いただけることを願っているところです。

米づくりは昨年度に引き続き柞原区の植西良隆様のご協力で、うるち米を栽培させていただきます。農園の野菜づくりは例年通り、各区からのサポーターさんのご協力をお願いいたします。また、田植えにつきましても、サポーターさんの中から当日参加可能な方のご協力をお願いいたします。サポーターさん以外にも、子どもたちと田植えの体験をしていただける方、保護者の皆様、大歓迎です。秋の美味しい実りをめざし、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

収穫祭も、子どもたちが主体となって計画し、お世話になったサポーターの皆様へ感謝の気持ちを伝えるものとする予定です。その規模については、今後の情勢から判断したいと考えています。